

平成25年度 第2回道東ブロック審判講習会 報告書

1. 目的 (1) 日本公認審査会受験者のセレクションとする。
(2) マニュアルの詳細を理解する。
2. 期日 平成25年6月1日(土)・2日(日)
3. 会場 開講式・座学・オンザコートクリニック会場 『釧路市立幣舞中学校』
大会会場 『釧路町総合体育館』
4. 大会 釧路地区市長杯大会 兼 国体出場決定戦(一般)
5. 講師 HBA審判委員会道東ブロック長…久朗津義晃
釧路地区審判長…高坂義隆 北見地区審判長…会田壮志
HBA審判審査委員会委員…小山静男
各地区日本公認審判員
6. 受講者 帯広・北見・釧路地区協会所属の次期日本公認審判員
男性16名 女性4名 合計20名
7. 日程 1日(土)
9:00 集合(釧路市立幣舞中学校) 開講式
座学…マニュアルテスト(マニュアルの詳細理解)
10:00 オンザコート・メカニック講習
幣舞中・大楽毛中のモデルゲームを使用
14:00 実技開始(釧路町総合体育館) 男女1回戦 ⑤ゲーム
18:30 実技終了
2日(日)
10:00 実技開始(釧路町総合体育館)
女子準決勝・男子ベスト8 ⑥ゲーム 12名
14:30 実技終了 閉講式

8. 報告

次期日本公認講習会として、マニュアルの理解をテーマに講習を行いました。マニュアルテストを行い、モデルゲームでは日本公認に後ろについて位置取りの指示を出してもらい、ゲームを止めて巻き戻しをしながらポジション取り・角度・タイミング・レポートの行い方等を確認しました。次期日本公認には実際のゲーム感覚で位置取りを修正することが出来て大変有意義な講習となりました。今後の課題としては、ゲーム数とコート数・指導する日本公認の人数を確保することが必要となります。モデルゲームや地区大会の使用について理解を得ながら数の確保をして継続して講習を行っていきたいと思います。

大会での実技では地区の国体予選のため緊張感のある実技講習となりました。スペースウオッチングのための動きが足りないこと、自分の位置取りに精一杯で相手審判との分担意識が足りないことが課題となりました。

あらたな顔ぶれとして、今後の活動に期待が持てる審判員が9名も初参加し、女性審判員も4名が参加するなど、今後のブロック講習会も活気のあるものとなっていく予感を感じさせる講習会となりました。道東ブロックでは昨年度7名が日本公認に合格しましたが、まだまだ他のブロックに比べても審判員の人数が少ないブロックの為、審判員の育成に全力で取り組み日本公認を増やしていきたいと思います。

ブロック講習会を行うにあたって、道協会をはじめ道審判委員会・道審判審査委員会・釧路地区協会等、大変お世話になりありがとうございました。今後とも道東ブロックの活動にご支援ご協力をお願いいたします。